

入部谷越えから紅葉の阿弥陀山ハイキングの準備に行きました

眺望の良いコースで、この時期紅葉が素晴らしいです。尾根コースを主に下山します。阿弥陀山中腹にある太山寺跡・太山寺城跡を散策します。歴史・自然・眺望などたっぷりたのしめます。
倒木が多く処理したり、道標の赤テープをつけたり、自然観察のポイント・コースタイムの調査などしました。当日は、良いお天気模様…のようです。みなさまのご参加をお待ちしています。

◆歴史

阿弥陀山

阿弥陀山は比良山系の最北端に位置し、標高四五四mの山頂からは広大な平野や琵琶湖を一望することができます。この山は古くから西方浄土の信仰の対象とされ、聖元の人々だけでなく、琵琶湖対岸の人々からも信仰されてきました。

阿弥陀山の名は、昔、この山の上に阿弥陀山太山寺という寺があったことに由来します。太山寺は聖徳太子の創建と伝えられ、のちに「高島七か寺」の一つにも数えられます。

山麓にある三田集落は、「弥陀」を「三田」の字に改めたとされるほか、集落西方の聖地にある三昧庵は、阿弥陀山を西方浄土に見立てて、そこに建立つたための入り口と伝えられています。

また、中野集落にある太子堂は、もとは太山寺の一室でしたが、織田信長の焼打ちにあい再興されたものです。太子堂には聖徳太子の絵伝や画像（高島市指定文化財）が残されており、絵伝の最後には、太山寺創建の一場面が描かれており、当時の姿がうかがえます。

太山寺(城)

太山寺の遺構は、阿弥陀山の南麓中腹の地名「阿弥陀山」遺跡、田原敷」と呼ばれる範囲に広がっています。

この範囲の中で最高所に位置し、最も広い平地が本堂跡と考えられ、石積の基礎や礎石（建物の柱を立てる石）が整然と並んでいます。また、この本堂跡にむかって、石段の遺がのび、その両側には坊院と考えられる平地が階段状に並びます。

これらの遺構に加え、周辺一帯には堀切や土塁など防御のための遺構が現れることから、戦国時代の聚落関係の中で、城郭として改修された可能性も考えられます。



① 本堂跡（最高所に位置し、最も広い平地が本堂跡と考えられる）
② 礎石や土塁など遺構が現れることから、戦国時代の聚落関係の中で、城郭として改修された可能性も考えられます。
③ 石段の遺構がのび、その両側には坊院と考えられる平地が階段状に並びます。
④ 堀切や土塁は外敵の侵入を防ぐために築かれたものである。

◆里山整備：台風の影響でたくさんの倒木がありました。



◆コースの様子



眺望が良い所があとちに・・・



紅葉1



紅葉2



馬頭観音



阿弥陀山山頂



眺望



トレッキングのコース



眺望



太山寺跡・太山寺城跡



土塁・郭



堀切



石積



袖郭